

特定非営利活動法人大阪マスターズ陸上競技連盟

第39回理事会議事概要

- 招集月日 2022年12月27日(火)
- 開催日時 2023年1月20日(金) 18:30~21:00
- 開催場所 大阪市立難波市民学習センター 多目的室(アトリエ)
大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル4階 (電話) 06-6643-7010
- 理事総数 22人
- 出席理事 22人(本人出席;13人、議決権行使者;9人) 出席監事 2人

会 長 椎木 茂久
副会長 赤峰フミコ、山中 保博
専務理事 池上 健三
常務理事 安達 芳恵、井指 康裕、小西 宏之、坂下 勝正、柴田 秀治、深尾 真美、
藤田 幸久、並川 耕土、村井 正信
理 事 大倉 節子、数野 哲也、神谷 亨市、津田 光央、鶴川 久寿、早川 禎一、
松島 忠土、三宅 要、森井 正和
(注) 氏名の下線は議決権行使者。斜体字の氏名は欠席者。
監 事 中島 静一、福本 康史

■議案の経過要領および議案別議決の結果

第1号議案 2022年度事業報告および活動計算報告について

池上専務理事から、2022年度事業報告として、法人の概況、事業期間、事業の成果が報告された。また、事業の実施状況として、特定非営利活動に係る事業、関係団体の関する事項、社員総会に関する事項、理事会に関する事項、各種届け出等についても報告された、引続き2022年度活動計算報告について、活動計算報告資料に基づいて報告がなされた。これを受けて、議長が意見・質問などを募ったところ、次のような質問が出された。

- 1. 貸借対照表に固定資産の記載がないが固定資産はないのですか。(井指常務理事)
 - ・すべて10万円以下なので減価償却資産となる固定資産はありません。(池上専務理事)
- これらの提案・説明を受けて議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された

第2号議案 2023年度事業計画(案)および活動予算(案)について

池上専務理事から、大阪マスターズの組織運営について、事業の実施方針について、事業の実施に関する事項について説明があった。引続き2023年度の活動予算編成についての基本的な考え方と、2023年度活動予算(案)が説明された。なお、2023年度からは堺市に加えて大阪府・大阪市もねりんピックの助成金がなくなるとの説明があった。これを受けて、議長が2023年度事業計画(案)、および活動予算(案)について意見・要望等を募ったところ、次のような意見・要望が出された。

- 1. 今まで大阪マスターズがねりんピック選考会の業務を受けてきたが、助成金が出ないのでできませんとは言えないのではないかと、選手の方々が困ると思う。(山中副会長)
 - 2. 選考会としての競技はするが、事務手続きなどはしないという考え方もある。事務手続きに時間と手間・費用を要している実態がある。(村井常務理事)
 - 3. 参加料は通常通りの3,000円を払っていただいて選考会としてのレースはできる。ただし年会費などは払ってもらっていない。また募集要項に選考会としての記載はどうするのかという問題もある。(井指常務理事)
 - 4. 担当理事(村井常務理事)は、週明け(23日)に大阪府・大阪市、堺市へ連絡して本年は今まで通りに行くが次年度以降は助成金がなければできないと伝えてほしい。(池上専務理事)
- これらの論議を受けて、議長が、2023年度事業計画(案)および活動予算(案)についての賛否

を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第3号議案 2023年度通常総会の準備について

池上専務理事から2023年度通常総会および必要な準備について説明がなされた。また、直近で委任状が198通届いていること、本人出席は理事以外にはいないこと、当日の役割分担、さらに当日の集合時間は12時30分であることが報告・説明された。

これを受けて、議長が意見・要望などを募ったところ、特に意見・要望がなかったため、議長が2023年度通常総会の準備についての賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第4号議案 常務理事会の報告と常務理事会への委任事項について

池上専務理事から常務理事会の報告および常務理事会への委任事項について報告・説明がされた。これを受けて、議長が意見・要望などを募ったところ、特に意見・要望がなかったため、議長が常務理事会の報告と常務理事会への委任事項についての賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

第5号議案 その他

1. 第29回近畿マスターズ駅伝について

坂下常務理事より、①競技注意事項、競技運営要項の作成、②審判編成、③業者および競技場との打ち合わせ等について実行委員会での論議内容について報告があった。また、大倉理事より大阪マスターズの選手団編成状況についての報告があった。

なお、審判編成～依頼および関西学連への協力要請を早急に詰めて欲しいとの要請が池上専務理事から担当の村井常務理事へあった。

2. 会報発行について……池上専務理事より会報発行についての担当者や寄稿文原稿執筆予定者などについて再確認の説明があった。

3. 大阪陸協理事推薦について……池上専務理事から2023～2024年度の陸協理事推薦候補（協力団体である大阪マスターズ枠1人）として現任の小西宏之氏を推薦したい旨の提案があった。

4. 近畿マスターズの推薦理事について……池上専務理事から近畿マスターズの規約改正により大阪マスターズからの理事候補推薦枠が7人から4人になることから2023～2024年度の近畿マスターズの理事候補として、椎木茂久、池上健三、井指康裕、深尾真美の4氏を推薦したい旨の提案があった。

5. 競技会・研修会担当について……池上専務理事から2023年度の担当について、村井常務理事で原案を作成・提示したうえで調整したいと提案があった。

6. 長距離走の周回制限時間について……池上専務理事から周回制限時間を3000m；20分、5000m；30分、3000mW；30分、5000mW；45分にしたい旨の説明・提案があった。

7. 投てき器具の簡易検定と備え付け個数について

山中副会長より、12月20日（火）にヤンマフィールド長居で技術総務を依頼している加藤廣和氏に依頼して、砲丸、やり、ハンマーの外観形状、重量測定およびやりの重心確認等を行った結果、やり500g1本に重心バランスの悪いものがあり、ハンマーの取手が旧式のもの2個あったが、重さ等については特に問題点はなかったことが報告された。

また、簡易検定の結果報告を受けて池上専務理事より、砲丸3.00kg1個・やり700g1本の増備とやり500g1本を買換えについての提案・説明があった。

8. 100mの予選・決勝方式の導入について……井指常務理事から、100mの予選・決勝方式の導

入について南部忠平杯大阪マスターズ陸上競技大会で取り入れたいとの提案・説明があった。

9. その他……池上専務理事より 2023 年度の大阪陸協登録料 3,900 円(陸連登録料 1,000 円含む)の変更はないが、陸連登録料の納付についてシステム利用料が付加されることになる(詳細は 2 月 2 日に判明する見込み)。会員から徴収する陸協登録料を前年より 500 円高くして 4,500 円としたので会員に追加負担は生じない旨の説明・報告があった。

これを受けて、議長が意見を募ったところ、次のような意見・要望が出された。

- 1. 長距離走の周回制限時間とは、最終の周回にはいる際の制限時間という理解でよいのか？(藤田常務理事)
 - ・その通りである。この時間までに最終の周回に入れば制限時間なく完走できるということである。(大倉理事)
- 2. プログラム編成上 1 0 0 m の競技の申込時に自分のタイムを申告してもらう必要があるのではないか？(山中副会長)
 - ・その通りである。今も申込書には記入する欄があるので、皆さんに記入していただくようお願いしたい。(井指常務理事)
- 3. 3 月でフィールド競技のシューズ規定の猶予期間が終わり、規定のシューズ以外で競技をした場合には失格にはならないが認定記録とならないと認識しているがマスターズでも同様の対応とするのか？(柴田常務理事)
 - ・日本マスターズ陸上競技連合に確認する。(池上専務理事)
- 4. 2023 年度も無観客試合とするのか？(中島監事)
 - ・事前の登録でコーチや関係者は入場可能とし人数制限は設けないという方式で良いと考えている。(井指常務理事)
- 5. 近畿マスターズ理事推薦が 7 人から 4 人へと減少したがその経緯はどうであったのか説明してほしい。(山中副会長)
 - ・近畿マスターズの理事会で決定した事項である。(池上専務理事)
 - ・近畿マスターズとして合理的で効率的な組織運営を行うために、それぞれの府県の会員数に関係なく各府県 4 人と変更になり反対意見は特になかった。(椎木会長)

以上活発な議論がおこなわれたあと議長が賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決され